

迅速な救助に向けて

水難救助艇を活用
淀川で救助訓練

市消防本部は、水上バイクでけん引する水難救助艇を使って水難者を救助する訓練を、4月25日、淀川で行いました。

救助艇は、より迅速な救助活動を行うため、市と市内事業者が共同開発したもので、全国に先がけて平成24年に導入。訓練では、艇上に水難者を



引き上げ、心肺蘇生法を実施するなどの救助活動が行われました。

学習意欲をサポート

摂津 SUNSUN 塾
5月からスタート



市教育委員会は、市内の小学6年生と中学1年生を対象に、学習支援の場として、算数と数学を無料で教える「摂津SUNSUN塾」を5月からスタートしました。

同塾では、学習塾の講師が教科書に沿ったテキストを使用し、問題の解き方やポイントを詳しく解説しており、内容に

応じては個別指導も行っています。講師は「生徒の学びの意欲を高められるよう、学力に応じて丁寧に指導していきたい」と話していました。

摂津SUNSUN塾は、週2回の平日午後6時から、正雀市民ルーム、別府コミュニティセンター、鳥飼西小学校の3会場で行っています。

※正雀市民ルームと別府コミュニティセンターでは、途中参加も受け付けています。希望者は学校教育課へお問い合わせください。

地域と行政をつなぐ

108人に地区振興委員を委嘱
自治連合会は新役員を選出

4月29日、コミュニティプラザで今年度の地区振興委員委嘱式を開催し、市は、自治会長ら108人に同委員を委嘱しました。

また、市内自治会で構成される自治連合会の総会も開催され、今年度の役員が選出されました。

地域と行政のつなぎ役

地区振興委員は、地域住民からの要望を市に伝えたり、市からの情報を住民に広めたりするなど、地域の振興と市民の利便性の向上を図るために、地域と行政をつなぐ役割を担います。

委嘱式では、森山一正



▲森山一正市長から委嘱状を受ける白川信治会長（右）

市長が代表の白川信治会長（安威川町会）に委嘱状を手渡し、「地区振興委員は、市民と行政との太いパイプ役で、なくてはならない存在。1年間ご苦労いただくが、ご協力をお願いする」と激励しました。

その後、市から今年度の主要事業の説明が行われ、委員からは「人口減少と空き家の対策」「JR千里丘駅西口の再開発の進捗」「消防職員の増員」「ボール遊びができる場所の増設」などについての質問や要望が出されました。

自治連合会長に前田氏

自治連合会総会では、今年度の役員が選出されました（右下表）。新会長に選ばれた千里丘町会・前田清一郎会長は、「自治会の加入率を上げることが目標。皆で協力してがんばっていきたい」とあいさつしました。自治会は、住民が自主

29年度自治連合会役員（敬称略）

会長	前田清一郎（千里丘町会）
	茗荷 充幸（乙辻自治会）
	竹田 俊治（三島南部自治会）
	倉本 康史（別府新町自治会）
副会長	三宅 利昭（新生自治会）
	溝口 重雄（鳥飼下自治会）
	石澤 徹（香和自治会）
	川東 繁（庄屋町会）
会計	長谷川文男（上一津屋自治会）
	高田 繁夫（市場自治会）
会計監査	北本 範雄（太中自治会）
	品川 勝馬（鶴野北自治会）
理事	村澤 敏雄（三島自治会）
	前田 幸夫（新庄屋自治会）
	白川 信治（安威川町会）
	濱口 吉弘（別府自治会）
	中原富士男（南別府町自治会）
	吉田 政和（鳥飼八防自治会）
	中石 迪彦（鳥飼西睦自治会）
	福留 正彦（マンハイム淀川公園自治会）
	中西 貴（鳥飼中旭自治会）

▶新会長の前田清一郎氏



また、自治連合会は、各自治会活動の情報交換

つながりのまちを育むキャンペーンを開始

昨年11月、自治連合会・老人クラブ連合会・民生児童委員協議会・（社福）社会福祉協議会の4団体と市が、共同アピール「つながりのまち摂津を」を発表し、今年度は、共同アピールを多くの人に知ってもらうことを目指しています。

をする研修会や、市長との懇談会、「自治会活動パネル展」などを行い、多くの人に自治会活動を知ってもらおうと取り組んでいます。

もくじ

4～11……………【特集】水害 せつつの備えは

6～7……… 災害に強い地域づくり

8～11……… いざという時の備え・水害が発生したら

- 12～31…………… ■ お知らせ／募集（12～14） ■ 相談（15） ■ 健康（16～17）
- 公民館・コミセン（18～19） ■ スポーツ・文化（19～20） ■ 図書館（21）
- 児童センター、男女共同参画センター、教育、その他（22～23）
- 福祉（24） ■ 産業振興（25） ■ 子育て（26～27）
- 地域／市民活動（28～29） ■ ごみ・資源（30）

※表紙の写真は、昭和42年の大雨による千里丘ガード浸水